

令和7年度 府中市立矢崎小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①説明文の読み取りに関して、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読むこと。 ②物語文の読み取りに関して、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ③書くことに関して、経験したことや想像したことを基に必要な事柄を集め、順序に沿った簡単な構成を考え、伝えたいことを書き表すこと。	①「まず」や「次に」などの時間的な順序や事柄を表す言葉に着目し、例を踏まえながら提示していく。【発見】 ②「だれが」「いつ」「どのように」「なにをした」が分かる文に線を引かせ、文と内容との対応を明確にさせる。【発見】 ③書くことの単元や、国語以外の書く活動の際に、「始め、中、終わり」の構成を意識して書き表すようにさせる。【表現】	B	B
算数	①学習内容を日常生活と結び付けて考え、課題を解決する方法を考えたり、図や式などで表したりする道筋を大切に、児童の学習意欲を喚起すること。 ②繰り返し指導をしたり反復学習を行ったりすることで、学習内容の定着を図ること。	①導入の時間を大切に、この単元で学ぶ内容を明らかにして、持続できるような意欲を喚起する。【発見】 ②身近な事象を取り上げたり、児童から引き出したりして、学習内容が日常生活に根付いていることを児童に知らせ、学んだことを日々の生活の中で生かせるようにする。【表現】	C	B
生活	①子供の思いや願いに基づき、体験を中心とした学習活動を計画すること。 ②具体的な活動や体験を通して、関わる対象への気付きの質を高めさせるために、表現すること。	①身近な人々、社会、自然との出会わせ方を工夫したり、繰り返し体験させたりして、児童の意欲や主体性を引き出す環境構成や活動への誘いかけをする。【発見】【決定】 ②体験したことが自覚した気付きにつながるように、気付いたことを伝えたり、交流したり、振り返って捉え直したりして表現する機会をつくる。【対話】【表現】	B	B
音楽	①互いの声や音、リズムを聴き合いながら歌ったり演奏したりすること。 ②器楽表現について、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと。	①友達の歌声や音を聴き合う活動や拍のまとまりを感じ取れる活動を多く設定し、声や音、リズムを聴きながら歌ったり演奏したりする活動に慣れていくようにさせる。【対話】【発見】 ②鍵盤ハーモニカやカスタネットやタンブリンややすなどの打楽器の演奏の仕方を覚えさせ、よい音を探して簡単なリズムや旋律を演奏させる。【表現】	B	A
図画工作	①題材や材料・素材の特性を生かすような創作活動ができるように、児童の興味を喚起できるような作品作りを提示すること。 ②身近な事象や題材などに関する児童のつぶやきを拾い、作品作りへの意欲を喚起すること。	①表し方や作り方などの製作の手順や絵の具の使い方など、技術面の習得を明確にして指導する。【表現】 ②既存のデザインやキャラクターなどに縛られないようなアイデアや概念が想起できるように、児童が会話などからヒントを得たりすることができるようにする。【対話】	B	B
体育	①体づくりの運動遊びをすることで基本的な動きを身に付けること。（R7 体力テストの結果より、投げる動作を中心に） ②自分に合った遊びの場を選んだり、工夫したりすること。 ③学習を毎時間ふりかえり、次の活動に生かすこと。	①多様な動きをつくる運動遊びを十分に行うことで基本的な動きを身に付けさせる。【発見】 ②環境を整え、児童が能力やねらいに則して、場を選んだり、工夫したりすることができるようにさせる。【決定】 ③運動の行い方や工夫、自身の課題を意識させることで、よりよい活動とし、基本的な動きを身に付けることができるようにさせる。【発見】【表現】	B	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。